

“日本の誇りと魂”に出会える 昇龍道4つのモデルコース Vol.1



馬籠宿 写真提供：岐阜県観光連盟

昇龍道は実に多様で豊かな観光資源を有しており、まさに“日本の誇りと魂”が凝縮された観光エリアと言える。四季の自然美、祭りや食等の生活文化、ものづくりの伝統および最先端技術等を味わうことができ、ゴールデンルート（東京～京都・大阪）が有する東京のポップカルチャーや京都の歴史遺産等の観光資源とは大きく差別化ができる。こうした魅力ある観光資源について、世界に向けてより一層分かりやすく、効果的に伝えていくため、昇龍道プロジェクトでは昨年4月に4つのモデルコースを策定した。外国人の幅広い観光ニーズに対応するべく、それぞれテーマ性・ストーリー性を持たせており、エリア内を長期に周遊してもらうためのプロモーションツールとして積極的に活用されている。本特集では、この4つのモデルコースについて、2号にわたって紹介する。

昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数の推移

昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数は、平成24年3月のプロジェクト発足以降、堅調に推移してきた（図1）。特に平成27年は、対前年伸び率が70%超となり、全国平均よりも大幅に上回った。各国への旅行博出展やミッション団派遣、或いは旅行会社の下見招待旅行実施など、一貫したプロモーション活動が昇龍道の認知度に一定の成果をもたらしたと言える。

しかし、その一方では、ビザ発給要件の緩和や円安に下支えされた訪日ブームの恩恵を受けた結果でもある。実際に、平成28年1月から11月の累計実績では、ビザ発給要件の緩和効果が一巡し、また中国の景気減速の影響も受けるなど、対前年伸び率は低調となっている。

なお、日本人をあわせた全宿泊者数に占める外国人比率は、全国平均に比べ例年3～5%程度低い。まだまだ外国人を受け入れる余地は大いにあると言える（図2）。

4つのモデルコースの意義

現在、昇龍道プロジェクト推進協議会では、外国人延べ宿泊者数の目標を「平成31年までに1100万人泊」と掲げている。この高い目標の達成には、滞在日数の増加とリピーター率の向上が不可欠である。したがって、エリア内で長期滞在ができ、且つ何度訪れても飽きさせないバリエーション豊かな観光周遊ルートを提案していくことが必要であり、4つのモデルコースは効果的なプロモーションツールとして期待できる。

4つのモデルコースでは、それぞれターゲット市場に合わせ明確なコンセプトと印象的なネーミングを付けている。1週間程度の滞在を想定した具体的な旅程も提案しており、個人旅行者とツアー造成を行う現地旅行会社の双方にとって有益な情報となり得る。そのため、Webによる情報発信の強化等コースの認知度向上が必要である。

図1 昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数

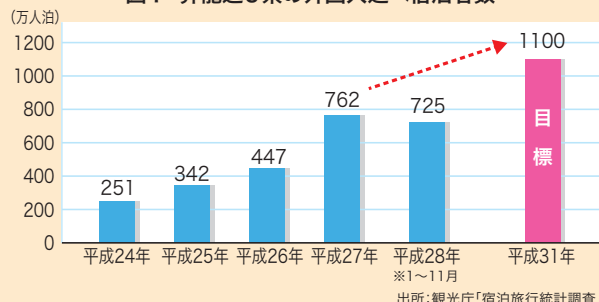
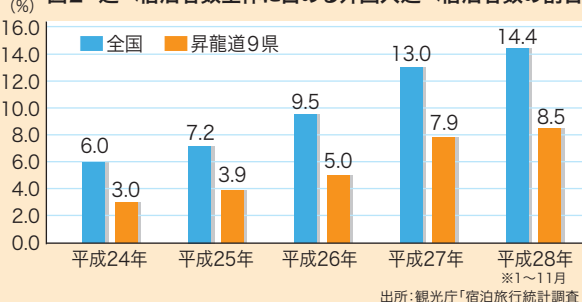


図2 延べ宿泊者数全体に占める外国人延べ宿泊者数の割合



昇龍道 Nostalgic Course

ノスタルジックコース

岐阜県



⑥【飛騨高山】古い町並み

三重県



⑤【伊勢神宮】宇治橋



長野県



①【信州善光寺】

長野県



②【国宝松本城】

長野県



③【妻籠宿】

愛知県



④【トヨタ産業技術記念館】

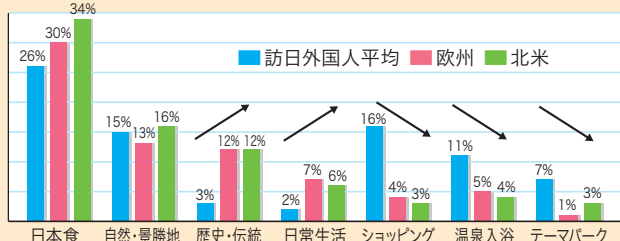
コースコンセプト

Nostalgicコースは、様々な「古きよき日本」との出会い、「日本人の心」に触れられるコースである。サムライ文化の象徴である数々のお城やその城下町、今も人々が生活する世界遺産「合掌造り集落」や宿場町には日本の原風景が存在する。近世に人々が一生に一度は参拝したとされる「伊勢神宮」、世界遺産「熊野古道」。この周辺の地域の人々は、海女文化を育み、真珠を養殖し、海とのかかわりを大切にしてきた。Nostalgicコースは訪れる人に「なつかしさ」と「温かさ」を感じさせ、日本の心のふるさとが体験できるコースである。

主な対象市場は欧米

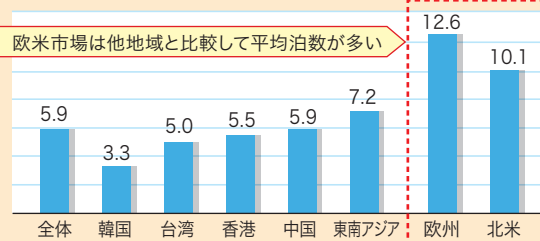
欧米市場には、四季折々の魅力を持つ自然景観や日本の歴史・伝統文化体験が好まれる(図3)。世界遺産「合掌造り集落」「熊野古道」に代表されるこのコースは「日本らしさ」と「伝統伝承」を表現するものであり、市場の嗜好とも一致する。また、宿泊統計データ(図4)から欧米市場は、滞在日数が中華圏・東南アジア圏と比べて長期間であり、10日以上滞在するためコースの旅程が一致する。体験を期待する嗜好性から「地域とのふれあい、農漁村等の体験プログラム」やテーマ性をもったコンテンツを活かした個人旅行者向けの情報展開が今後実施される。

図3 欧米市場は歴史・文化体験や日常生活に対する興味が高い



出所:観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」 参考表9「訪日前に最も期待していたこと」回答割合を比較

図4 国・地域別の平均泊数



出所:観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」から抜粋
観光目的で訪れた外国人について各地域ごとの平均泊数を算出

昇龍道 Great Nature Course

グレートネイチャーコース

福井県



③【東尋坊】

グレートネイチャーコース
大自然の醍醐味
アルペンと古代探訪の旅

滋賀県



④【琵琶湖と琵琶湖大橋】



長野県



①【地獄谷野猿公苑】スノーモンキー

富山県



②【立山黒部アルペンルート】雪の大谷

岐阜県



⑤【養老の滝】

愛知県



⑥【熱田神社】

コースコンセプト

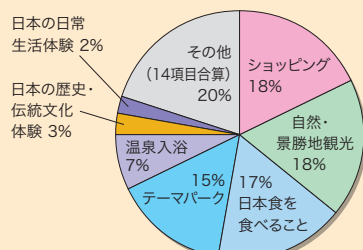
Great Natureコースは、3000m級の山々が連なる中を横断するアルペンコースである。宇奈月温泉の名月鑑賞、日本海の荒波に侵食されてできた奇岩が連なる東尋坊と世界三大恐竜博物館、日本最大の湖でもある古代湖の琵琶湖などを巡って、大自然の営みや醍醐味、自然の雄大さに触れることができる。また、大本山永平寺や湖東三山などの紅葉も楽しめるコースでもある。

主な対象市場は台湾・香港

台湾・香港市場には、温泉、グルメ、四季折々の魅力や文化体験が好まれる(図5・6)。また、リピーター

数が極めて多く(図7)、台湾・香港市場の多くは東京～大阪を結ぶゴールデンルートを経験済みのため、地方都市観光を求める傾向が特に強いと考えられる。また、台湾からのLCC就航も相次いでおり、さらなる誘客が期待できる。台湾市場では、旅行博への出展・商談会への参画の他、パッケージツアーの企画旅行会社・メディアへの個別アプローチと個人旅行者向けメッセージの発信・情報提供を中心としたプロモーションが展開される。香港市場では、個別旅行会社との太い連携関係を軸にしたパッケージツアーの造成・広告などを中心とした展開の他、個人旅行者向けメッセージの発信・情報提供を中心としたプロモーションが展開される。

図5 台湾市場の嗜好



出所:観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」 参考表9「訪日前に最も期待していたこと」 回答割合

図6 香港市場の嗜好

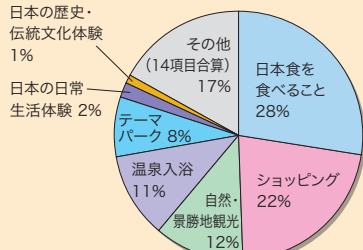
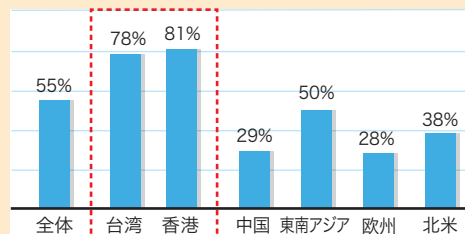


図7 国・地域別のリピーター割合



出所:観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」から抜粋
観光目的で訪れた外国人について各地域ごとに、訪日回数2回目以上の回答者の割合を算出

昇龍道の魅力あるコンテンツ

昇龍道には、他の観光エリアに差別化できる魅力的な滞在コンテンツが多数ある。現在は、「日本酒」「山車・からくり」「サムライ」「ものづくり」「山岳」「昇龍伝説」といった6つの滞在コンテンツの磨き上げを行っている。

現時点では、各コンテンツを個別にプロモーションしている段階にあるが、今後はコンテンツ間を繋いだ新たな観光周遊プランの提案や、4つのモデルコースとの連携により旅程のバリエーションアップを図るなど、昇龍道のブランディングに向けた一層の活用が求められる。

昇龍道日本銘酒街道

昇龍道エリアは日本酒の名産地であり、個性的で優良な酒蔵が数多くある。

平成26年にスタートした「日本銘酒街道」では、ガイドマップを作成し、現在131の酒蔵情報（見学・試飲の可否等を含む）を掲載している。また、旅行会社の下見に酒蔵見学を組み込むなど、日本酒への理解・親しみを深める活動を展開している。

平成28年には、「お酒と食のおいしい組合せ」をコンテスト形式で33件採択し、日本酒と郷土料理を組み合わせたプロモーション活動へと深化させている。また、このうち22銘柄は、伊勢志摩サミット開催時に名古屋駅および中部国際空港に設置したおもてなしブースにて、メディア向けの記念品として配布した。

中部北陸9県は、日本の「まんなか」

広域共通の観光テーマ

「酒と食」のおいしい
コラボレーション

戦国～江戸期の
「サムライ」の歴史文化

日本アルプス、富士山、
白山等の卓越した「山岳」

「山車・からくり」は、
ものづくりのルーツ

自動車、航空機、伝統工芸
等の「ものづくり」

様々な龍にまつわる
「龍伝説」

広域で取り組む事業

「昇龍道日本銘酒街道」

「昇龍道サムライ街道」

「昇龍道山岳紀行」

「昇龍道山車・からくり街道」

「昇龍道ものづくり街道」

「昇龍伝説紀行」

広域共通のテーマに沿った観光資源をストーリー化 + その他の多様な観光資源

訪日外国人が嗜好に応じて多様な楽しみ方で広域周遊

「お酒と食のおいしい組合せ」審査員特別賞のご紹介

コンテストで採択した33件のうち、酒や食の専門家と外国人による審査員が特に優れていると判断し、特別賞を受賞した3件を紹介

三重県桑名市

究極の「はまぐり」を
地酒「久波奈」と食す！

久波奈（くわな）特別純米
〈後藤酒造場〉

はまぐり鍋
（はまぐりのしゃぶしゃぶ）
〈割烹日の出〉



岐阜県下呂市

幻想的な灯りを鑑賞しながら
日本酒と鮎料理を堪能し、
贅沢な空間を楽しむ。

天領
〈天領酒造〉

馬瀬鮎
〈南飛騨馬瀬川観光協会〉



岐阜県多治見市

“ミシュラン二つ星☆
人間国宝”の器でいただく
最高の鰻料理とお酒

三千盛純米大吟醸
〈三千盛〉

鰻白焼き
〈老鰻亭魚関〉



名古屋テレビ塔下でカンパイ！

Nostalgicコース 東濃9蔵の地酒と美濃焼の器を楽しむ3日間

MEETS TONO JIZAKE & MINOYAKI

2017年3月10日 Fri・11日 Sat・12日 Sun

岐阜県・東濃9蔵の地酒を飲み比べ、美濃焼の酒器やおつまみの小皿も選んで楽しめるイベントが名古屋テレビ塔下「タワースペース」で開催されます。各蔵自慢の地酒が集合！おつまみも会場演出も東濃づくしの内容です。おいしくほろ酔いながら、東濃の魅力を感じてみませんか。

〈問い合わせ先〉

東濃ぐるりん観光事業実行委員会 ミーツ トーノ事務局

TEL 052-241-7803(担当: 森田・榎本)

URL www.meets-tono.com



次号(4月号)は、Dragonコース・Ukiyo-eコースの2コースと、昇龍道山車・からくり街道について掲載いたします。